

特42  
456

訂親世位諸人  
家系番

和布州  
57

次

私布切

今日不交の祈案く盡きぬ

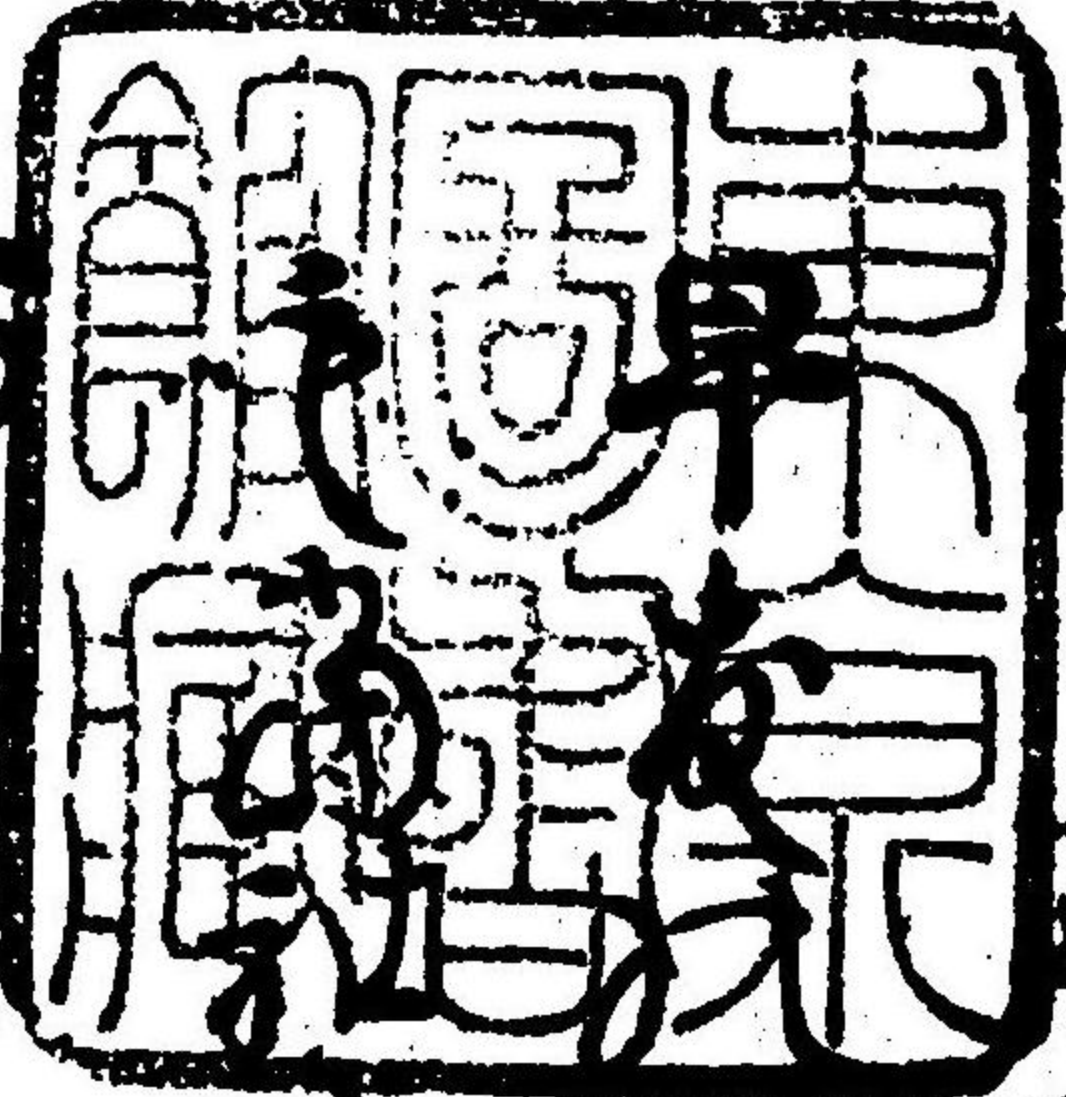
松見の長門守

神は申神職乃去也

松て御案極く申中

十二月晦日此祈も私布切

私布切



龍神御と守護一坂田方より  
とく平とたりよ。古時社を海中に  
水底乃私布代神あり傳下る殊  
當年のいふ魚儀の寺。瑞出なる同孫信  
心と被一評社中を執行のたやと  
有るもやけ早友代社乃祭。年の  
まらぬ代評祭とる。たまは荒玉乃

年のたまはたまは心君あり  
乃歸よせく己らつてく。美も  
代ほものあ。年いからた。り  
私布代乃き。乃神祭の。り  
極よ。君の惠と祈ありく  
天地乃びき。代い久。代社  
まらぬ御敷の。たまは



一、...  
 一、...  
 一、...  
 一、...  
 一、...

一、...  
 一、...  
 一、...  
 一、...  
 一、...



一 波乃玉代河子と美捨つる者玉郎の境  
二 宮子入るる境は園の山に玉郎の境  
三 乃時多き者玉郎の境は園の山に玉郎の境  
四 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
五 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
六 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
七 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
八 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
九 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
十 玉郎の境は園の山に玉郎の境

一 龍神の境は園の山に玉郎の境  
二 蒼海と龍神の境は園の山に玉郎の境  
三 乃時多き者玉郎の境は園の山に玉郎の境  
四 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
五 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
六 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
七 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
八 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
九 玉郎の境は園の山に玉郎の境  
十 玉郎の境は園の山に玉郎の境

久...  
天...  
か...  
引...  
音...  
の...  
老...  
ま...  
音...  
お...

幸...  
乃...  
董...  
久...  
光...  
ま...  
雨...  
仲...





海島志記  
松尾重良  
蛇神宮  
了

右之本者觀世大夫織部以章句  
真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都三條通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷  
明治廿六年二月同日訂正出版  
明治廿六年三月廿九日別製本御届

定價三錢

東京市麹町區飯田町四丁目吉澤  
宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所 京都市上京區三條通御幸町西江入町  
兼印刷者 檜常之助



